

共有住宅施設のプールの再開手順

最近の更新：

5/21/2021:屋内プール、ホットタブ、サウナ、スチームルーム、トイレ、シャワー、ロッカールームを占有率50%で再開できることが更新されました。更新されたCDCの清掃に関するガイダンスに合わせて、清掃の要件を更新しました。住宅施設のプールエリアで開催される非公式の集会は、郡の「非公式の集会に関するガイダンス」に従う必要があります。

COVID-19の症例率、入院数、及び死亡数は低く安定しているように見えますが、COVID-19は引き続き地域社会に高いリスクをもたらしているため、すべての市民が予防策を講じ、拡散のリスクを軽減するためにその運営や活動を変更することが必要とされます。

ロサンゼルス郡が州内の経済活動再開に向けた新たな枠組みの「黄色」に入ったため、本手順は、いくつかの地域の活動に特化した制限を解除するために更新されました。住宅施設の運営者は、慎重に運営を変更し、本手順に記載されている要件を遵守して、事業運営に於けるCOVID-19の潜在的な拡散を軽減する必要があります。本手順は、アパート、コンドミニアム、及び住宅組合の所有するプールの使用に適用されます。

屋外の住宅施設プールは、すべてのプール利用者が同一世帯以外の人から6フィートの物理的距離を維持できる人数に制限して、通常の利用を再開することができます。屋内住宅用プールは、該当する建築基準法または消防規則に基づいて、50%の占有率で通常の利用を再開することができます。

屋内外のホットタブ、屋内サウナ、スチームルームは再開できます。全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しているか、1世帯の個人を除いて全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しており、かつその世帯に住む個人がCOVID-19による重篤な疾病になるリスクがない場合、屋内外ホットタブは、6フィートの距離を維持して、世帯グループまたは異なる世帯の個人による使用を再開できます。サウナとスチームルームは50%の占有率に制限する必要があります。トイレと更衣室は50%の占有率で使用を再開できます。

住宅施設プールで開催される非公式の集会は、非公式の集会に関する郡のガイダンスに従う必要があります。
<http://publichealth.lacounty.gov/media/coronavirus/docs/people/InformalSocialGatherings.pdf>.

「Tier : 黄色」です。非公式の集会は屋外で100人、屋内の場合は屋内スペース収容人数の50%または50人のいずれか少ない方に制限されています。全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しているか、1世帯の個人を除いて全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しており、かつその世帯に住む個人がCOVID-19による重篤な疾病になるリスクがない場合を除き、マスクの着用と距離の確保を行う必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべてのプール運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

本手順書に於ける、「世帯」という用語は、「単一の生活単位として一緒に暮らす人」と定義され、寮、フラタニティやソロリティ、修道院、または住宅介護施設などの組織的な集団生活、及び寄宿舎、ホテル、モーテルなどのような商業生活を含みません。¹「スタッフ」という用語は、従業員、ボランティア、インターン、研修生、学者、及び現場で作業を行う他のすべての個人を意味します。

¹ ロサンゼルス郡コード、タイトル 22. §22.14.060 - F.家族の定義 (Ord. 2019-0004 § 1, 2019.)

https://library.municode.com/ca/los_angeles_county/codes/code_of_ordinances?nodet=TIT22PLZO_DIV2DE_CH22.14DE_22.14.060F

「水泳者」、「利用者」、「訪問者」、「観客」または「顧客」という用語は、一般の人々、及びビジネスまたはサイトで時間を過ごすスタッフまたは従業員ではないその他の人々が含まれます。

「施設」、「サイト」という用語は両方とも、建物、敷地、及び許可された活動が行われる隣接する建物または敷地を指します。

本手順書では、以下に該当する場合、「ワクチン接種を完了している」と見なされます。

- PfizerまたはModerna製ワクチンのような、接種を2回受ける必要のあるワクチンの場合、2回目の接種を受けてから2週間以上経過している。または、
- Johnson & Johnson (J&J/Janssen)製ワクチンのように、ワクチン接種が1回で済むワクチンの接種を受けてから2週間以上経過している場合

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> にアクセスして、本文書が更新されていないか確認してください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための措置
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員及び市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの公平なアクセスを確保するための措置

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての住宅施設プールの運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されていない理由を説明する必要があります。

企業名: _____

施設住所: _____

投稿日: _____

A. 職場に於ける従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 施設の現場で勤務する従業員がいない場合は、ここをマークしてセクションBにスキップしてください。
- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱な従業員（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられており、懸念がある場合は医療従事者、または産業保健サービスに相談して、職場復帰をするのに適切な決断をする。
- 全ての従業員（施設スタッフ、運用スタッフを含め、総称して「従業員」と呼ぶ）は、体調がすぐれないまたはCOVID-19感染者に曝露された場合、出勤しないように指示されている。
- 従業員は雇用者や政府出資の病気休暇の権利についての情報を提供され、金銭的に病気休暇が簡単にできるような補償を得ることができる場合がある。2021年のCOVID-19補足有給病気休暇法に基づく従業員の病気休暇の権利を含む、COVID-19に対する病気休暇および労働者災害補償を支援する政府プログラムに

関する追加情報を参照する。

- ロサンゼルス郡DPHの**入場時のスクリーニングのガイダンス**に従って、従業員、及びその他の訪問者が職場に入る前に**スクリーニング**を行っている。スクリーニングには咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気の有無、新たな味覚または嗅覚の喪失、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含める必要がある。これらのチェックは、個人やオンラインチェックインシステムなどの別の方法を使用するか、または施設の入口に**看板**を掲示して、これらの症状のある従業員が施設に入らないように指示をしている。可能であれば職場での検温も行う。
 - 症状確認で陰性の場合（クリア）。過去10日間に症状がなく、既知のCOVID-19症例との接触がない場合は、その日の入場と勤務が許可される
 - 症状確認で陽性の場合（クリアしない）
 - その個人がCOVID-19のワクチン接種を完了²しておらず、過去10日間に既知のCOVID-19症例と接触した場合、または現在検疫命令を受けている場合、その個人は施設への立ち入りや勤務はできず、自宅で検疫を行うために直ちに帰宅させる。
ph.lacounty.gov/covidquarantineに掲載されている検疫の手順を提供する。
 - その個人が上記の症状のいずれかを示しているか、現在隔離命令を受けている場合、その個人は施設への立ち入りや勤務はできず、自宅で隔離を行うために直ちに帰宅させる。
ph.lacounty.gov/covidisolationに掲載されている隔離の手順を提供する。
- 1名もしくはそれ以上の従業員がCOVID-19検査で陽性反応を示した、またはCOVID-19（症例）症状と一貫している報告を受けた場合、雇用主は、直ちに本人たちに自宅隔離を促し、職場で症例にさらされたすべての従業員に自己検疫を促す計画または手順を準備する。雇用主の計画では、追加のCOVID-19管理措置が必要となる可能性のあるさらなる職場曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員のCOVID-19検査へのアクセスや、検査の手配する手順が考慮されている必要がある。
- 14日間以内に職場内で3件以上の症例が確認された場合、雇用者はこの発生を公衆衛生局（888）397-3993または（213）240-7821、もしくはオンラインでwww.redcap.link/covidreportに報告する。職場でクラスターが特定された場合、公衆衛生局は、感染対策の指示と推奨事項、技術的支援、及び職場固有の対策の提供を含む集団への対応を開始する。公衆衛生局のケースマネージャーが集団の調査の担当に割り当てられ、施設の対応への協力をサポートする。LACDPHは、このクラスター症例がCOVID-19の発生と考慮されるかを判断するため、施設の早急な協力を必要とする。
- 勤務中に他者と接触する従業員に鼻と口を覆う適切なフェイスマスクを無料で提供している。詳細は、<http://publichealth.lacounty.gov/acd/ncorona2019/masks>からロサンゼルス郡公衆衛生局のCOVID-19マスクに関するウェブページを参照する。他者と接触している、またはその可能性がある就業時間中は、従業員は常時フェイスマスクを着用する。医療従事者からフェイスマスクを着用しないように指示されている従業員は、状態が許す限り、州の指示に準拠した下端にドレープが付いたフェイスシールドを着用しなければならない。ドレープは顎の下にフィットするものが好ましい。一方向弁付きのマスクは使用してはならない。
- 通常、顧客と濃厚接触する従業員、またはフェイスマスクを着用していない顧客と一緒に閉鎖された屋内スペースにいる従業員（入場スクリーニングの実施や食事の提供など）には、フェイスマスクに加えてフェイスシールドを提供する。COVID-19が屋内で拡散するリスクが高いことを考慮して、フェイスマスクを着用していない顧客と屋内で濃厚接触する従業員には、フィットテスト済みのN95（推奨）、KN95、または二重マスクを含む微細なエアロゾルの透過をより効果的に保護するマスクを提供することが強く推奨される。詳細については、ロサンゼルス郡DPHのCOVID-19マスクのウェブページ：<http://publichealth.lacounty.gov/acd/ncorona2019/masks>参照のこと。

² 接種を2回受ける必要のあるワクチン（Pfizer-BioNTechまたはModerna製）の場合、2回目の接種を受けてから2週間以上、またはワクチンを接種が1回で済むワクチンの接種を受けてから2週間以上経過している（Johnson & Johnson (J&J/Janssen) 製）人が、ワクチン接種完了者とみなされます。

- フェイスシールドは、雇用主にワクチン接種完了の証明書を提示する従業員についてはオプションとなる。マスクは着用しなければならない。COVID-19に対するワクチン接種完了の証明書を提示し、フェイスシールドを着用しないことを選択したワクチン接種完了者の従業員の場合、雇用主は、これらの従業員のそれぞれがワクチン接種完了の証明を提示したことを文書化した記録を作成して保管する。雇用主は、提示されたワクチン接種完了の証明書のコピーを保管する必要はない。
 - 接種を2回受ける必要のあるワクチン（Pfizer-BioNTechまたはModerna製）の場合、2回目の接種を受けてから2週間以上、またはワクチンを接種が1回で済むワクチンの接種を受けてから2週間以上経過している（Johnson&Johnson[J&J]/Janssen製）人が、ワクチン接種完了者とみなされます。
 - 従業員がCOVID-19のワクチン接種完了の証明として雇用主に提示するものが認められる書類は以下の通りです：ワクチン接種カード（ワクチン接種者の氏名、提供されたワクチンの種類、最後に接種を受けた日付を含む）、または別の書類としてのワクチン接種カードの写真、または携帯電話もしくは電子機器に保存された接種を受けた人のワクチン接種カードの写真、または医療従事者から提供されるワクチン接種に関するワクチン接種完了の書類（ワクチン接種を受けた人の氏名、及びその人がCOVID-19のワクチン接種を完了していることを確認する内容を含む）。
- 従業員にはフェイスマスクを毎日（必要に応じて）洗濯、また交換するよう指示する。
- フェイスマスクが常時正しく着用されているようにするために、従業員は、マスクを安全に取り外して他の人から物理的に離れることができる休憩時間を除き、飲食が禁じられる。飲食する場合は、従業員は常に他の人から少なくとも6フィートの距離を取る。可能であれば、屋外で他の人から離れて飲食することが推奨される。キュービクルやワークステーションが従業員間により広い距離や仕切りを提供している場合は、休憩室で食事をするよりも、キュービクルやワークステーションで飲食することが好ましい。
 - 従業員が食事や休憩に使用する部屋またはエリアは、以下の対策を実施することにより占有率が低下し、従業員間のスペースが最大化されている。
 - 休憩に使用する部屋またはエリア内で人間の距離を少なくとも6フィート確保することができる最大収容人数を掲示する。及び、
 - 食事や休憩に使用される部屋またはエリアの占有率を減らすために、休憩や食事の時間をずらす。及び、
 - テーブルを少なくとも6フィート離して配置する。収容人数を減らすために座席を取り除くか座席にテーブルを貼る、距離を確保するために床に目印を付け、対面での接触を最小限に抑えるように座席を配置する。これらの使用は、拡散をさらに防ぐために推奨されるが、収容人数の削減、物理的距離の確保の代替とはみなされない。
- 従業員が利用する際にフェイスマスクを着用する必要はない。
- 水泳施設に同時に勤務する従業員の数制限するために、勤務シフトをずらしたり、変更したりする。
- 従業員が利用できる消毒剤及び関連用品は以下の場所に常備している：

 - 従業員が利用できるCOVID-19に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している：

- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可される。
- 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- 本チェックリストに記載されているすべての方針は、雇用条件に関するものを除き、第三者として敷地内にいる可能性がある配達スタッフ 及びその他の会社に適用される。
- オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための措置

- 屋外プールは通常の使用のために再開できる。プールの施設の使用は、すべてのプール利用者が同一世帯以外の人から6フィートの物理的距離を維持できるように制限する。
 - プール利用者最大許容収容人数： _____
- 屋内運営。屋内プール、トイレ、シャワー、サウナ、スチームルーム、ロッカールームなど、屋内で提供されるプールの運営は、該当する建築基準法または消防法に基づいて、施設の屋内最大収容人数の50%に制限する。これらの屋内施設の運営は、[郡のジム及びフィットネス施設の再開手順](#)にも準拠する必要がある。
 - 施設内の最大利用者数： _____
- 全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しているか、1世帯の個人を除いて全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しており、かつその世帯に住む個人がCOVID-19による重篤な疾病になるリスクがない場合、屋外ホットタブ/スパ/ジャグジーは、6フィートの距離を保持して、世帯グループまたは異なる世帯の個人による使用を再開できる。
- すべての居住世帯にプール利用者収容人数制限について通知する。
- プールの利用に予約制を実施することを検討する。例えば、これは、個人のラップスイミング用のフルレーンの予約、及び個々の家庭用のハーフレーンの予約が含まれる。
- ラップスイマーは、COVID-19に対するワクチン接種を完了していない限り、同居者以外の利用者から6フィートの物理的距離を保つ必要がある。水泳者が安全な距離を確保できるように、特定の時間にラップスイミングにレーンを使用できる水泳者の数を制限する。
- 遊泳者の監視を行っているライフガードは、手洗い、フェイスマスクの着用、または他者との社会的距離の確保は要求されない。
- 指定された個人または居住者のグループが、上記のプール利用者の最大収容人数を超過しないように監視及び確認する責任を持つことが推奨される。指定された人物は、すべての暫定ガイドラインが遵守されていることも監視する。
- 全員がCOVID-19に対するワクチン接種を完了しているか、1世帯の人を除いて全員がワクチン接種を完了しており、[COVID-19による重篤な疾病になるリスクが高い個人](#)がその世帯にいない場合を除き、社会的距離を確保するための措置（同居者でない利用者間の距離が少なくとも6フィート離れるようにする。）が実施されている。
 - 州法で義務付けられているように、プールの周囲に4フィートのデッキスペースを確保しつつ、プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席及び座席エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
 - 水中及び水に入っていないときに、ゲストや水泳者が少なくともお互いから6フィート離れることができるように、物理的な手がかりまたはガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
- アパート、コンドミニウム、住宅組合の居住者でないゲストのプール施設の[使用禁止](#)を検討する。
- プールでのパーティーや集会は、郡の[非公式の集会](#)に関するガイダンスに準拠しなければならない。

C. 感染防止対策

- HVAC システムは正常に機能し、可能な限り最大限に換気を良くしている。効果的な換気は空気感染を制御する最も重要な方法のひとつである。ポータブル高効率空気清浄機の設置や、建物のエアフィルターを最高の効率にアップグレードするなどの変更を検討し、外気の量を増やし、オフィスや他のスペースの換気を増やしている。詳細はカリフォルニア州公衆衛生局の[屋内の環境での換気、フィルター、空気質に関する暫定的ガイド](#)を参照する。

- 注：換気やその他の屋内の空気質を改善することは、フェイスマスクの着用（適切な呼吸器防護具を必要とする高リスクの環境を除く）、他者から少なくとも6フィートの距離を保つこと、頻繁に手を洗う事、異なる世帯の人物を集める活動を制限する事を含む必須条件と共に行われるもので、それを代替するものではない。
 - 窓やドアの開放、扇風機の使用、その他の方法で、外気の導入と循環を可能な限り増やす。ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物の空気フィルターを可能な限り最高効率のものへアップグレード、外気量を増やし職場内の換気を増やすためにその他の変更を加えることを検討する。
 - ただし、スタッフ、居住者、または利用者に安全上のリスクが生ずるような場合は、窓やドアを開けないでください。
- プールに訪れる訪問者は、施設又は施設の敷地内では常時（水の中にいる場合を除く）フェイスマスクを着用することを促される。これは成人と2歳以上の子供すべてに適用する。医療供給者によってフェイスカバーを着用しないよう指示された個人のみ、フェイスカバーの着用を免除される。医師よりフェイスマスクを着用しないよう指示をされている来場者は、状態が許可する限り、州命令に準拠した下端にドレープが付いたフェイスシールドを着用しなければならない。シールドはあごの下にフィットするものが好ましい。一方向弁付きのマスクは使用してはならない。
- 郡のスクリーニングに関するガイダンスに準拠して、訪問者が施設に入る前に入場時のスクリーニングが行われる。これには咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、新たな味覚または嗅覚の喪失、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含む必要がある。これらの症状確認は直接、又はオンラインでの症状確認などの代替方法を使用したり、これらの症状を持つ訪問者の入場を禁じるという施設入口の標識を掲示することで実施される。
- 陰性スクリーニング（クリア）：その個人に症状が無く、過去10日以内にCOVID-19の症例と接触していない場合、施設への入場が許可される。
 - 陽性スクリーニング（クリアしない）
 - その個人が過去10日間に既知のCOVID-19症例と接触した場合、または現在検疫命令を受けている場合、その個人は施設への立ち入りはできず、自宅で検疫するために直ちに帰宅させる。[lacounty.gov/covidquarantine](https://www.lacounty.gov/covidquarantine)に掲載されている検疫の手順を提供する。
 - その個人が上記の症状のいずれかを示しているか、現在隔離命令を受けている場合、その個人は施設への立ち入りはできず、自宅で隔離を行うために直ちに帰宅させる。[lacounty.gov/covidisolation](https://www.lacounty.gov/covidisolation)に掲載されている隔離の手順を提供する。
- プールの安全チェックを実施して、プールの化学的成分が消毒に適切な状態であり、プールの安全装置が検査されていることを確認する。
- 適切なオペレーションとメンテナンスは水中のウイルスを不活化する。
- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。これには、水飲み場、装飾用噴水、ホットタブなどが含まれるが、これらに限定されるものではない。
- 頻繁に触れる表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実施する。EPA承認の消毒剤を使用する。定期的な清掃及び消毒を以下の頻度で、少なくとも1日1回行う。スケジュールは以下の通り：
- 手すりとスライド _____
 - ラウンジチェア、テーブル _____
 - ドアノブ及びトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____
 - 共用施設 _____

- トイレ _____
- その他 _____

- ❑ 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、居住者が利用できる石鹼、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、及びゴミ箱が含まれる。
- ❑ 家具（例：ラウンジチェア）または他の共用アイテムが除去されていない場合は、**少なくとも1に1回**清掃及び消毒されていることを確認する。居住者は、家具や共用アイテムを使用した後、それらを消毒するための用品を持参してもよい。居住者は自分の家具や共用アイテムを持参することが推奨される。
- ❑ 各自、自分のタオルをプールに持参し、同一世帯以外の人とタオルを共有しない。
- ❑ プールサイドで他者と飲食物を配布しない。また、感染の拡散のリスクを減らすために同一世帯以外の人と飲食物を共有しない。
- ❑ 水飲み場やウォータークーラーは停止し、使用不可とする。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- ❑ 本手順書のコピーまたは該当する場合は、印刷した施設のロサンゼルス郡COVID-19安全コンプライアンス認定書を施設の一般向け出入り口の全てに掲示する。COVID-19安全コンプライアンス自己認定プログラムを完了するための詳細については、<http://publichealth.lacounty.gov/eh/covid19cert.htm>をご覧ください。施設は、要求に応じて、閲覧のできるように施設の現場に手順書のコピーを保持する。
- ❑ プール施設の各公共の入り口に標識を掲し、プール利用者に、体調の悪い場合、またはCOVID-19と一致する症状がある場合は外出しないよう通知する。
- ❑ プール利用者に、同一世帯ではない人から6フィートの社会的距離を可能な限り維持するよう促す標識を掲示する。
- ❑ すべての居住者とプール利用者が手を洗い、プール施設に入る際に消毒剤の使用することを奨励する標識を掲示する。居住者にアルコール濃度60%以上の手指消毒剤を提供するか、持参するよう依頼する。
- ❑ 公共エリアからプールやトイレとの行き来をする際に、居住者にフェイス**マスク**の着用を促す標識を掲示する。水に浸る際には、水泳者にフェイス**マスク**を取り外すよう促す。

E.

- ❑ 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い居住者のためのサービスへのアクセスを確保するための対策を講じる。

社会的距離措置及び施設や表面の消毒手順に関する米国疾病予防管理センターのガイダンスは、<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/water.html>をご覧ください。